

Anatomy(2)

1 unit 3rd-year(1st semester)

Tatsuji Haneji · PROFESSOR / HISTOLOGY AND ORAL HISTOROLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Akio Hiura · ASSOCIATE PROFESSOR / HISTOLOGY AND ORAL HISTOROLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Target) 講義で習得した知識を基盤として、顎・口腔領域の正常な組織標本を実際に自分の目で観察し、人体の組織の構造と機能を理解する。

Outline) 代表的な顎・口腔領域の組織標本を顕微鏡下で観察、スケッチすることにより、口腔領域の組織の構造と機能を把握し、理解を深める。スケッチは、毎回、実習終了後に提出して評価を受ける。

Style) Practice

Manner) 実習

Location) 第3実習室

Theme) 講義で得た知識と本実習で得る視覚情報を総合する。

Keyword) エナメル質, 象牙質, セメント質, 歯の発生, 口腔粘膜, *salivary gland*

Notice) 実習全回出席と全実習スケッチの提出をもって受験資格を認める。

Goal) (＜> 内はコアカリ対応)

1. 歯の組織構造を説明できる。
2. 歯周組織の構成要素とその組織構造を説明できる。
3. 歯の発生段階と組織学的特徴を説明できる。
4. 唾液腺の構造と機能を説明できる。
5. 口腔粘膜を分類し、その組織学的特徴を説明できる。

Schedule)

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	顕微鏡観察	歯(研磨標本)	エナメル質, 象牙質, セメント質	1	羽地, 樋浦
2.	〃	歯(脱灰標本)	象牙質, 歯髄	〃	〃
3.	〃	歯周組織	歯根膜, 歯槽骨, セメント質	2	〃
4.	〃	歯の発生 1 歯の発生 2	蕾状期, 帽状期 初期鐘状期, 後期鐘状期	3	〃
5.	〃	大唾液腺	耳下腺, 顎下腺, 舌下腺	4	〃
6.	〃	被覆粘膜 咀嚼粘膜	口唇, 軟口蓋 硬口蓋, 歯肉	5	〃
7.	〃	特殊粘膜	舌乳頭, 舌扁桃, 口蓋扁桃	5,6	〃

Evaluation Criteria) プレパラート等を用いた筆答試験およびスケッチの評価を総合して判定する。

Re-evaluation) 行う。

Textbook)

◇ 実習書: プリントを配付する。

◇ 参考書: カラーアトラス口腔組織発生学 第3版, わかば出版, 2009

◇ 参考書: Ten Cate 口腔組織学 第6版, 医歯薬出版, 2006

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217377>

Contact)

⇒ Haneji (+81-88-633-7321, tat-hane@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (月~ 金 17:00-18:00/4F 口腔解剖第二・教授室))

⇒ Hiura (633-9121, hiuraaki@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: (月~ 金 17:00-18:00/4F 口腔解剖学第二・准教授室))